WE　HAVE　WINGS

～どんな逆風も力に変える翼がある～

校長　桑野 啓子

　タイトルは８月２４日に開幕した２０２０東京パラリンピックの開会式のテーマです。それぞれの生き方を貫きながら、競技生活を送るパラリンピアンには、どんな逆風も力に変える「翼」が備わっていることを表現されたとのことです。知恵や工夫と努力で様々な競技にトライするパラリンピアンの姿から考えることがたくさんあります。東京都内ではパラリンピアンを招いて授業を行った学校があるそうです。「できないと思っても、考え方をかえたり、工夫をすればできることがあるんだ」と感想を述べた小学生がいたそうです。このパラリンピックにより、身近な社会や自分の住む町が、周りの人の態度や環境によって、生活するうえで不便を感じる人や生きづらさを感じる人がいることを考えたり、困っている人に「何を手伝えばいいですか」と声をかけたりするきっかけにしたいものです。

　さて、厳しい暑さと大雨の夏でしたが、大きな事故やけがの連絡を聞いていないことにこころからホッとしています。みなさんの一人ひとりが体調管理に気を配りながら、家庭での学習や部活動に励み、元気に過ごせた日々であったなら良かったです。また感染拡大が非常に心配な状況でもあり、気をつけていても感染を防ぐことができない事態でもあります。だれを責めるのでもなく、自分ごとと想像力を働かせて、あたたかく優しい気持ちで彩都の丘学園の２学期を始めましょう。

　１５００名を超える学園の仲間との更なるつながりをゆっくりと育てていきましょう。日々の状況の変化により、当初の予定が行えないこともあると思いますが、自分たちにできること「検温」「人との距離」「マスク」「手洗い」「手指消毒」「換気」などを１学期よりも一層しっかりと実行していきましょう。できないことを嘆くより、知恵と工夫でできることを見いだしていきましょう。どんな逆風の中にいても、あたたかく優しい気持ちで励ましあう仲間とのつながりを支えに、私たちのかけがえのない２０２１年２学期を大切に過ごしていきましょう。

　保護者のみなさん、地域のみなさんには、夏の間の見守りも大変ありがとうございました。またこの度の臨時休校においてもご理解を賜りましてありがとうございました。引き続きみなさんにお力添えをいただきながら、２学期を始められることに感謝して、一歩一歩進んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。